

### 第3回高知防災クイズチャンピオン

6月16日(日)、大方あかつき館で、「第3回高知防災クイズチャンピオンin黒潮町」が高知県防災力向上委員会により開催されました。

同イベントは、甚大な被害が予想される南海トラフ地震に対し、自助できる力を身につけてもらうと、小学5・6年生を対象に防災の知識を3人組で競うクイズ大会で、県内の8チームが集まり、町内からは、佐賀小・伊与喜小の連合チーム「防災バサライズ」と田ノ口小の「田ノ口防災トリオ」が参加しました。

児童らは、さまざまな問題に挑戦し、決勝戦に駒を進めた田ノ口防災トリオが優勝を飾りました。

優勝した3人は、「初めは優勝できると思わなかったけど、とても嬉しい。わからなかった問題なども勉強して、防災についてこれからも学んでいきたい」と話しました。



防災タワーを使ったクイズの様子

○テレビ放送予定  
RKC高知放送  
小学生が挑む!第3回高知防災クイズチャンピオンin黒潮町  
7月27日(土)  
午後4時30分~午後5時

### 佐賀保育所園児ら稚アユ放流

不破原地区・伊与木川で5月16日(木)、「佐賀の伊与木川を守る会」が主催する稚アユの放流が行われ、佐賀保育所の園児20名が参加しました。

稚アユの放流は平成24年から始まり、今年で7回目。園児らは、体長10cm前後のアユをバケツで慎重に運び、大きくなるように願いを込め、声をかけながら約2千500匹を放流しました。

同会の明神照男会長は、「子どもたちに川や町をきれいにすることを伝えられたと思う。今日してほしい」と話しました。



稚アユを放流する園児ら

### さが谷三里マーケット2周年祭

6月1日(土)、集落活動センター佐賀北部で、「さが谷三里マーケット2周年祭」が行われました。

同マーケットの直販所が2周年を迎えたことを記念したもので、野菜や魚、手作りのお惣菜販売のほか、お菓子のつかみ取りやバザーが行われ、住民で賑わいました。また、高知大学地域協働学部の学生もスタッフとして参加し、販売などの補助や、今後より良い直販所にするため、来場者にアンケートをとりました。

佐賀北部活性化推進協議会の大石正幸会長は、「地元の野菜などを卸してくれる人を増やし品物を充実させ、より多くの人に来てもらいたい。また、大学生の若い意見を聞き、イベントなどを企画していきたい」と話しました。



賑わう直販所

【マーケット営業日】  
毎週木・金曜日 午前10時~午後3時  
【モーニング】  
毎月第1木曜日 午前10時~午後1時  
○お問い合わせ ☎55-7272

### 本庁舎ヘリポートで離着陸訓練

黒潮消防署などが5月31日(金)、役場本庁舎でヘリポート離着陸訓練を実施しました。

この訓練は、ヘリポートへの離着陸を通じて、地上の警戒や連絡体制などを検証する目的で、同署の呼びかけをきっかけに、町役場高知県消防防災航空センターと合同で行われました。

南国市から20分ほどかけ黒潮町へ飛行してきたヘリコプターは、午前9時過ぎ、本庁舎の上空を旋回しながら敷地内のヘリポートへ着陸。その後、隊員らが機外へ降り、ヘリコプターは離着陸を繰り返しました。

同署の塩田充弘さんは、「ほかのヘリポートと違い来庁者がいるため、人や車への被害がないよう、今回の訓練を今後に活かす調整を進めていきたい」と話しました。



ヘリから降りる隊員ら

当日は、大方中央保育所の園児らも訪れ、訓練の様子を見学しました。